

江戸文化研究会

5月以降の行事予定

第72回	講演会 「江戸の人々と動物たちの暮らし ～共生のストーリー～」	5月 17日(土)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 視聴覚室	5月 13日(火) 締切	2/4
第73回	金原亭小馬生 落語独演会 「酢豆腐」 & 「大山詣り」	6月 29日(日)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 視聴覚室	6月 20日(金) 締切	3/4
第74回	講演会 「浮世絵と川柳で巡る江戸名所『品川』」	7月 13日(日)	文京総合 福祉センター 江戸川橋4階 視聴覚室	7月 8日(火) 締切	4/4

※ 参加申込み要領

① 監査懇話会メンバーの方は、懇親会参加の有無を含めて担当世話人宛てにメールでお申込み下さい。

② 監査懇話会メンバー以外の方は、下記情報を明記の上 当会申込窓口宛にメールでお申込み下さい。(会場の制約等の事情により、ご参加をお断りする場合がありますことを予めご了承ください。)

<申込窓口>

edobunka@outlook.jp

<申込メール記載事項>

- ・ お名前(フリガナを付記して下さい)
- ・ 所属団体名・会社名等……退職した方は旧・勤務先名等
- ・ 参加希望日程・及び 行事名
- ・ 懇親会参加の有無
- ・ 緊急連絡用 携帯電話番号
- ・ 電子メールアドレス

会場アクセス



交通アクセス

- ・ 東京メトロ 有楽町線「江戸川橋」4番出口 徒歩4分
- ・ 都バス 上69系統(小滝橋車庫前 上野公園《循環》)「石切橋」徒歩3分
- ・ 都バス 飯64系統(小滝橋車庫前 九段下《循環》)「石切橋」徒歩3分
- ・ 都バス 上58系統(早稲田⇄上野松坂屋前)「江戸川橋」徒歩8分
- ・ B-ぐる 目白台・小日向ルート 6・21番「文京総合福祉センター」徒歩0分

※ 駐車場の用意はありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

一般社団法人 監査懇話会
江戸文化研究会

https://kansakonwakai.com/cultural_activities/edobunka-kai/

講演会「江戸の人々と動物たちの暮らし～共生のストーリー～」

日 時: 5月17日(土) 15:00 開講 (14:30 開場) 16:30 閉講予定 17:00 より懇親会

場 所: 文京総合福祉センター 江戸川橋 4 階 視聴覚室

講 師: 江戸東京博物館 都市歴史研究室長 小山 周子先生

専門は浮世絵・近代版画。

担当展覧会に、「東京－近代版画に見る都市の創成」(2024-2025 年)、「どうぶつ百景－江戸東京博物館コレクションより」(2024-2025 年)、「北斎と広重 富嶽三十六景への挑戦」(2024 年)、「いきもの: 江戸東京 動物たちとの暮らし」展(2022 年)、「明治のころーモースが見た庶民の暮らし」展(2013 年)、「よみがえる浮世絵ーうるわしき大正新版画」展(2009 年)ほか。

内 容: 世界史上でも類を見ない、極めて長期にわたり平和が続いた江戸時代(1603～1868)、幕府が置かれた江戸は、18 世紀初頭に人口 100 万人という巨大都市へと発展しました。しかし、都市に暮らしていたのは人間だけではありません。さまざまな動物たちも一緒に暮らしていたのです。人に飼育された動物もいれば、自然のなかに野生の動物もいて、江戸は実に生物多様性に富んだ都市でした。そして人々は、動物を自分たちの仲間かのように接していたと言われます。



本講演では、昨年、東京ステーションギャラリーで開催した「どうぶつ百景－江戸東京博物館コレクションより」(2025 年 5 月現在、愛知県美術館に巡回中)の企画内容をもとに、浮世絵や版本などの資料から、これまであまりふり返られることがなかった江戸の人々と動物たちの共生についてご紹介します。

会 費: 3,000 円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000 円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、**5月13日(火)まで**にメールにて申し込みください。

コロナ対策: ご参加の方は、下記をご徹底ください。

- 会場内では常時マスクの着用を励行してください。
- 近距離での会話や大声での発声をお避けください。

世話人: 的場 大典



金原亭小馬生(旧称・馬玉)独演会 ～「酢豆腐」 & 「大山詣り」～

日時: 6月29日(日) 15:00 開演 (14:30 開場) 16:30 終演予定 17:00 より懇親会

場所: 文京総合福祉センター 江戸川橋 4階 視聴覚室

出演: 金原亭小馬生師匠

2000年4月 第十一代 金原亭馬生門下に入門

前座名 金原亭駒介

2003年11月 ニツ目昇進 金原亭馬吉 と改名

2015年3月 真打昇進 二代目 金原亭馬玉 襲名

2024年2月 金原亭小馬生 と改名

演目: <あらすじを Wikipedia より転記>

酢豆腐

ある夏の昼下がり。暇な若い衆が寄り集まり暑気払いに酒を飲
と相談をしているが、「宵越しの銭は持たない」が身上の江戸っ
ちには金がない。酒はどうか都合するとして、安い肴はない
考えていると、ある男が糠床の底に残っている古漬けでかくや
こ(糠漬けの古漬けを刻んでミョウガや生姜を薬味として添え
理)を作ればいいと提案する。

これは妙案だと皆喜ぶが、手が糠味憎くさくなるのがいやな
ので古漬けを引き上げる役を引き受ける者がひとりもない。

やがて兄貴分の男が、昨夜豆腐を買ってあったことを思い出したが、せっかくの豆腐は与太郎が夏場
にもかかわらずねずみいらずの中にしまったせいで腐ってしまっていた。

そこに伊勢屋の若旦那が通りかかる。知ったかぶりの通人気取り、気障で嫌らしくて界限の江戸っ子達
からは嫌われ者の若旦那を見た兄貴分は、この若旦那を困らせてやろうと思いついて彼を呼び入れる
と、「実は舶来物の珍味があるのだが、何だか分からねえ。若旦那ならご存知でしょう」と腐った豆腐を
出す。若旦那は知らないとも言えず、「これは酢豆腐でげしょう」と知ったかぶる。さすがは通人の若旦那
だと持ち上げられた上にどうやって食べるのか見せてくれと頼まれるといやとは言えず、仕方なく
腐った豆腐を一口食べて苦悶する。兄貴分が「若旦那、もう一口如何ですか」と声をかけると若旦那が
「いや、酢豆腐は一口に限りやす」。

大山詣り

町内の仲間で大山参りに行くことになったが、毎年酒乱の熊
五郎が迷惑をかけるため、道中で酒を飲んで暴れた者は坊
主にするという約束で出発した。行きは何事も問題なくすん
だが、帰りの神奈川宿の宿屋で泥酔した熊五郎が風呂場で
暴れるという事件を起こす。仲間たちは約束通り、寝入った
熊五郎の髪を剃り上げて坊主になると、彼を置いて朝早く出
立した。

朝、目を覚ました熊五郎は坊主にされていることに気づく。
早駕籠で仲間より先に江戸に帰ると、留守番をしていた仲間
の女房たちに、仲間たちが帰りに金沢八景で船事故に遭って
自分以外は全員溺死してしまい、自分は弔いのために頭を丸
めたと嘘をつく。女房たちはこの嘘に騙され、自分たちも弔
いのために……と 髪を剃ってしまう。そこに仲間が帰り、事
態を知って激怒する。その中で年長者がめでたいことだから、
怒るに及ばないと仲間を諭す。どうしてだと尋ねられ、答え
る。「お山は晴天、家へ帰れば皆、毛が(怪我)無くてめでたい」

会費: 3,000 円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000 円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、**6月20日(金)まで**にメールにて申し込みください。

コロナ対策: ご参加の方は、下記をご徹底ください。

- 会場内では常時マスクの着用を励行してください。
- 近距離での会話や大声での発声をお避けください。

世話人: 森山 正雄



第74回 江戸文化研究会

講演会 「浮世絵と川柳で巡る江戸名所『品川』」

日 時: 7月13日(日) 15:00 開講 (14:30 開場) 16:30 閉講予定

17:00 より懇親会

場 所: 文京総合福祉センター 江戸川橋 4階 視聴覚室

講 師: 元都立高校教師 伊藤 寿先生

1958年生まれ。東京大学法学部卒業。

主な研究テーマは、ヨーロッパの歴史・文化、日本の近世・近代史、江戸文化

25年間都立高校に勤務し、主に世界史・現代社会を担当。主幹教諭

2008年東京都教育委員会表彰、文部科学大臣優秀教員表彰

講演・講座歴は、世田谷生涯大学関係、都立高校公開講座、よみうりカルチャー、毎日文化センター、杉並区コミュニティふらっとなど400回以上

また、海外渡航歴はイタリア、フランスを中心に30回以上、20カ国以上。

内 容: 「旅籠百軒」と謳われ、「北の吉原」に匹敵する賑わいを見せた品川ですが、その歴史は古く、多くの名所や歴史的逸話があります。そんな品川を『江戸名所図会』、広重、歌麿、豊国らの浮世絵世界とともに品川名所めぐりと洒落こみませんか。

●「飯盛女」は品川が発祥?

●品川の客とは...

●桜の名所、紅葉の名所 ほか



歌麿「品川の月」

「東の方を海側といって二階は海を臨む。はるか安房上総の遠山を見晴らす眺めは絶景…」
～恋川笑山の艶本『旅枕五十三次』より

会 費: 3,000 円

懇親会: 講演終了後、有志による懇親会(4,000 円)を予定いたします。

参加申込時に併せてお申込み下さい。

申込み: 懇親会参加の有無を含めて、**7月8日(火)まで**にメールにて申し込みください。

コロナ対策: ご参加の方は、下記をご徹底ください。

● 会場内では常時マスクの着用を励行してください。

● 近距離での会話や大声での発声をお避けください。

世話人: 高橋 美奈子